



ひかり結ぶまち

かりや 景観れぽーと



テーマ
商業建築物編

VOL.9

発行日：平成14年3月20日
発行：刈谷市都市計画課
TEL (0566) 62-1022



商業建築物の作法

Point 1 店先の演出に心がけましょう

Point 2 建物の形状や配置を活かしましょう



今回のれぽーとは、「商業店舗」についての実践編を取り上げます。

その中でも、店先の飾り付けや使い方の演出方法と、

建物自体の形状や配置に関わる作法について紹介します。

皆さんで、刈谷を彩り豊かな賑やかなまちにしていきましょう。

Point 1 店先の演出に心がけましょう

●店先に商品を並べる

店先に商品をセンス良く陳列することで、店舗正面やその周囲がオシャレな雰囲気になります。

もちろん、その店舗が何を扱っている店なのかも一目瞭然で、道行く人の目を引きつける効果も期待できます。

歩いてワクワクする、楽しい雰囲気を作ってみませんか。



ショーウィンドウに並ぶ商品などが季節感を演出しています



赤い毛せんを使った陳列で目を引きま



ワゴンやバスケットを効果的に使っています



商品の陳列が街を賑やかにしています



ちょっと気を引くシンプルな演出です



敷地内に置かれたベンチやのれんが店の雰囲気を引き立てています



店先に置かれた可愛い花が店舗の入口を演出しています

●店先を小物で演出する

ベンチやテーブル、パラソルや商品のメニュー台などの可愛い小物を用いて店先を演出することで、空間に遊び心が生まれ、見る人の心を和ませてくれます。

遊び心を持ちながら、まちに彩り豊かな明るい表情を作り出してみませんか。



景観にアクセントが生まれています



各種の小物が道行く人の目を引きま



Point 2 建物の形状や配置を活かしましょう

建物の形状や配置を活かすことで、通り全体に、空間的な広がりがあります。

「この先には何があるのかな？」という気持ちを抱かせる、楽しい空間づくりを行ってみませんか。



路地の奥にある店の入り口が気になります



ガラス張りの店舗は空間を広く見せます



わずかな空間の使い方店先に新しい表情が生まれます



敷地内に空間を少し設けることで、まちにゆとりが生まれます



地形を活かした建物は街に奥行きを感じさせてくれます



階段との組み合わせにより空間に奥行きが感じられます

景観づくりが進む工場

刈谷市の中心部には数多くの企業や工場があり、さまざまな景観づくりを行っています。今回は、その中で、建物の形状や色彩等の意匠、敷地外周の緑化等、最近魅力的なまちなみの景観づくりに取り組んでいる2社の担当の方にお話を伺いました。

■株式会社豊田自動織機

PE部 山岡さん
総務部 熱田さん

Q まちなみの景観づくりに対しては、どのように考えられていますか？

A 当社では、「地域の景観との調和」を基本にして工場施設ということ意識させない景観づくりを大切にしています。昔の工場がフェン



組合会館

スや塀で隔離された存在であったのに対し、これからは地域に開かれた、明るい雰囲気を出すよう生垣等の自然的な要素を用いて、できる限りオープンな形態にしていきたいと思っています。また、市の木であるクスノキを用いるなど、住民の皆さんに親しみを感じてもらえる景観づくりを行うようにしています。

Q どんな景観づくりに取り組んでいますか？

A これまでの閉ざされた雰囲気のグラウンドを、樹木の間伐や下草刈り等によって視界の開けた明るい雰囲気にするなど、当社の施設が、できる限り周囲の景観と調和



グラウンド外周の整備

するよう取り組んでいます。また、植樹する際には、日常の世話や秋冬における落ち葉の清掃など、維持管理面にも心がけています。

一方、建物の形態や意匠では、過去に「組合会館」が「愛知まちなみ建築賞」を受賞したように、地域の財産となるものを創っていきたく考えています。現在建設中の「情報技術研究所」周辺は、歴史的な趣きを感じられる亀城公園に近く、また周囲が自然的な風景を残す場所ですので、



建物前面には十分な緑地を設け、周囲の景観に配慮した取組みを進めています。

これからも、住民に親しまれる地域に開かれた明るい雰囲気の施設づくりを行っていこうと思っています。

■株式会社デンソー

施設部 稲垣さん
総務部 中原さん

Q まちなみの景観づくりに対しては、どのように考えられていますか？

A 当社の基本理念には、「自然を大切に、地域と共生する」という考え方があり、その理念のもとに、「自然環境の保護」、「地域の方々から「デンソーがあって良かった」と感じてくれる環境づくり」、「地域に魅力を創出できる建物づくり」の3つをまちづくりや景観形成に関する基本的な姿勢としています。

Q どんな景観づくりに取り組んでいますか？

A 市民の皆さんの目に直接触れる敷地外周において、四季を感じられる花や実のなる

木々を植樹するなどの緑化を積極的に行っています。特に敷地北側では歩道整備と一緒に、コンクリートの塀を取り壊し、樹木による緑化を行った結果、今までの閉鎖的な風景を一変しました。また現在、敷地の南側においても歩道と一体的な植樹帯の整備を行い、潤いと安らぎの空間の創出に取り組んでいます。

一方、建物においては、外壁の色の統一化に取り組んでいます。これまでのアイボリー色からホワイトグレー色に変え、明



本社ビル



本社工場敷地北側の緑化

るく圧迫感の少ない雰囲気になっています。

また、現在進行中の取組みで言えば、刈谷駅前に建設中の「社員クラブ(仮称)」が、地域に新しい魅力ある空間を創出するよう、建物の外観において斬新なデザインを採用するなどの工夫を行っています。

今後も、こうした様々な場面において、「自然を大切に、



地域と共生する」という当社の基本理念を基に、これまでの取組みを地道に行っていこうと思っています。